

# 株式会社 島津製作所

## 安全安心な水を全ての人に

### 水質分析での貢献例



液体クロマトグラフ質量分析計

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」のターゲット6.3は、「2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する」です。水質が改善されたかどうかを判断するためには、上水だけでなく、工場からの排水や、身の回りの河川などの水質を定量的に把握することが重要になります。当社は総合分析機メーカーとして、様々な分析装置や技術を提供し、水質の維持や改善に貢献しています。例えば、近年、問題になっている有機フッ素化合物は、界面活性剤や撥水剤などの多くの用途で工業製品に使用されてきました。しかし、近年、地球全体の規模で人体や野生動物に蓄積していることや、環境中にも残留していることが様々な研究でわかってきました。生物学的な毒性はまだ完全には解明されていませんが、新しい残留性有機汚染物質として規制が強化されています。当社の液体クロマトグラフ質量分析計で、微量なそれらの物質を定性・定量分析することで、その影響を把握し改善することに貢献しています。

